



## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月25日

上場会社名 昭和飛行機工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7404 URL <http://www.showa-aircraft.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田沼 千明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理・財務部長 (氏名) 木下 尚久 (TEL) 042-541-2111  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月25日 配当支払開始予定日 2019年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日~2019年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	25,404	4.7	2,387	10.1	2,216	20.7	1,246	16.9
2018年3月期	24,260	3.5	2,167	14.5	1,836	9.0	1,066	△1.2

(注) 包括利益 2019年3月期 801百万円(△26.3%) 2018年3月期 1,086百万円( 34.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	38.23	—	3.6	3.5	9.4
2018年3月期	32.71	—	3.2	2.9	8.9

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	63,132	34,486	54.6	1,057.38
2018年3月期	63,463	34,043	53.6	1,043.82

(参考) 自己資本 2019年3月期 34,486百万円 2018年3月期 34,043百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	3,049	△5,015	△1,966	6,013
2018年3月期	3,444	△239	△1,679	9,961

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00	326	30.6	1.0
2019年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00	326	26.2	1.0
2020年3月期 (予想)	—	5.00	—	6.00	11.00		—	

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,000	4.6	1,000	6.3	1,000	6.1	600	6.8	18.40
通 期	27,000	6.3	2,600	8.9	2,300	3.7	1,400	12.3	42.93

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期	33,606,132株	2018年3月期	33,606,132株
② 期末自己株式数	2019年3月期	991,416株	2018年3月期	991,378株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	32,614,738株	2018年3月期	32,614,876株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	21,514	5.9	2,262	14.1	2,180	10.9	1,292	1.4
2018年3月期	20,310	3.4	1,982	15.6	1,966	39.4	1,275	51.3
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年3月期	39.64		—					
2018年3月期	39.10		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	61,064	34,467	56.4	1,056.80
2018年3月期	61,451	33,919	55.2	1,040.01

(参考) 自己資本 2019年3月期 34,467百万円 2018年3月期 33,919百万円

2. 2020年3月期の個別業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通 期	23,000	6.9	2,300	1.6	2,000	△8.3	1,200	△7.2	円 銭 36.79

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(表示方法の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当社グループ2018中期経営計画(18中計)の初年度である当連結会計年度における業績は、輸送用機器関連事業及び不動産賃貸事業が順調に推移し、売上高254億4百万円(前連結会計年度比11億44百万円、4.7%増)、営業利益23億87百万円(前連結会計年度比2億19百万円、10.1%増)、経常利益22億16百万円(前連結会計年度比3億80百万円、20.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は12億46百万円(前連結会計年度比1億80百万円、16.9%増)となりました。

今後も、18中計で目指している「製造・不動産・サービス各事業のバランスのとれた業容拡大と利益率向上による持続的成長」を追求してまいります。

セグメント毎の業績は次のとおりであります。

#### ① 輸送用機器関連事業

防衛省向け車両艀装の売上が減少したものの、主力製品のタンクローリー等の特殊車両が好調に推移したこと、貨物機用ギャレーや航空機エンジン用の複合材部品の売上が増加したこと等により、当連結会計年度の売上高は101億16百万円と前連結会計年度に比べ9億37百万円、10.2%の増収となりました。セグメント利益は増収効果及び原価率の改善により3億82百万円と前連結会計年度に比べ44百万円、13.3%の増益となりました。

#### ② 不動産賃貸事業

商業施設モリタウンのリニューアル工事に伴う賃貸料収入の減少があったものの、新たに取得した福岡の賃貸用土地や昭島開発地区の新規賃貸施設の稼働により、当連結会計年度の売上高は70億50百万円と前連結会計年度に比べ1億36百万円、2.0%の増収となりました。セグメント利益は増収に加え光熱費等の経費を削減したことから23億83百万円と前連結会計年度に比べ1億92百万円、8.8%の増益となりました。

#### ③ ホテル・スポーツ・レジャー事業

ホテル事業においてインバウンド等による宿泊需要や企業等の研修・宴会需要が堅調に推移し、当連結会計年度の売上高は45億12百万円と前連結会計年度に比べ1億23百万円、2.8%の増収となりましたが、猛暑や台風等の天候不順によりゴルフ・スポーツ事業の利益率が低下し、セグメント損益は3億91百万円の損失(前連結会計年度3億4百万円の損失)となりました。

#### ④ 物販事業

事業用サウナ等の温浴設備がホテルの新築・改修の着工件数増加により好調に推移したものの、特別養護老人ホームの新築延期等による介護入浴装置販売の減少、大型自動二輪車の販売低迷等により、当連結会計年度の売上高は32億25百万円と前連結会計年度に比べ1億6百万円、3.2%の減収となりました。一方、セグメント利益は経費削減を進め79百万円と前連結会計年度に比べ22百万円、39.7%の増益となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

流動資産は、受注及び売上が増加したことに伴い受取手形及び売掛金や仕掛品などの棚卸資産の増加があった一方、賃貸用土地取得による現金及び預金の減少により、前連結会計年度末に比べて25億97百万円、14.0%減少し、160億1百万円となりました。

固定資産は、保有株式の時価下落により投資有価証券が減少しましたが、賃貸用土地の取得による土地の増加により、前連結会計年度末に比べて22億66百万円、5.1%増加し、471億30百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3億30百万円、0.5%減少し、631億32百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、長期借入金からの振替による1年内返済予定の長期借入金、棚卸資産の増加に伴う支払手形及び買掛金、固定資産取得に伴うその他流動資産に含まれる未払金の増加等により、前連結会計年度末に比べて39億72百万円、57.9%増加し、108億29百万円となりました。

固定負債は、主として1年内返済予定の長期借入金への振替に伴う長期借入金の減少により、前連結会計年度末に比べて47億45百万円、21.0%減少し、178億17百万円となりました。

なお、流動負債と固定負債を合わせた借入金合計は、前連結会計年度末に比べて15億40百万円、12.9%減少の103億60百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて7億73百万円、2.6%減少し、286億46百万円となりました。

#### (純資産)

純資産は、投資有価証券の時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少があった一方、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加があり、前連結会計年度末に比べて4億42百万円、1.3%増加し、344億86百万円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ39億48百万円減少し、60億13百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の収入は、当連結会計年度で税金等調整前当期純利益による収入が18億18百万円、減価償却費の計上による収入が22億18百万円あったものの、輸送用機器関連事業の受注金額や売上高の増加により売掛金などの売上債権や棚卸資産が増加したことから、前連結会計年度と比べ3億95百万円減少し、30億49百万円となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は、前連結会計年度に比べ47億75百万円増加し、50億15百万円となりました。これは賃貸用土地等の有形固定資産の取得による支出が49億1百万円あったことによります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の支出は、前連結会計年度に比べ2億86百万円増加し、19億66百万円の支出となりました。これは長期借入金の返済による支出が15億40百万円、配当金の支払額が3億58百万円あったことによります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率(%)	49.7	51.1	50.9	53.6	54.6
時価ベースの 自己資本比率(%)	56.7	55.4	59.3	65.7	74.8
キャッシュフロー対 有利子負債比率(年)	4.8	4.7	4.7	3.6	3.5
インタレスト・ カバレッジ・レシオ(倍)	17.9	18.7	21.3	27.5	28.7

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュフロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- 1 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
- 2 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
- 3 キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

次期の連結業績は、売上高270億円、営業利益26億円、経常利益23億円、親会社株主に帰属する当期純利益14億円を予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、海外取引比率が僅少で国際的な資金調達もおこなっていないため、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移等を踏まえつつ、IFRS（国際財務報告基準）の適用を検討していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,243,251	4,692,729
関係会社預け金	2,084,362	1,786,500
受取手形及び売掛金	5,097,377	5,949,079
商品及び製品	568,754	727,609
仕掛品	970,863	1,182,287
原材料及び貯蔵品	795,430	926,553
その他	853,482	752,540
貸倒引当金	△14,573	△15,464
流動資産合計	18,598,949	16,001,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	61,277,500	62,604,384
減価償却累計額及び減損損失累計額	△38,258,567	△39,439,138
建物及び構築物(純額)	23,018,932	23,165,245
機械装置及び運搬具	6,596,287	6,864,671
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,007,457	△5,191,988
機械装置及び運搬具(純額)	1,588,830	1,672,682
工具、器具及び備品	4,307,684	4,358,194
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,842,759	△3,965,671
工具、器具及び備品(純額)	464,924	392,522
土地	10,030,714	13,333,815
建設仮勘定	820,542	284,738
その他	264,448	302,522
減価償却累計額	△136,239	△177,055
その他(純額)	128,208	125,467
有形固定資産合計	36,052,152	38,974,472
無形固定資産		
その他	106,710	125,116
無形固定資産合計	106,710	125,116
投資その他の資産		
投資有価証券	7,994,221	7,406,444
長期貸付金	71,050	—
繰延税金資産	181,316	193,287
その他	645,953	544,013
貸倒引当金	△186,892	△112,708
投資その他の資産合計	8,705,648	8,031,037
固定資産合計	44,864,511	47,130,626
資産合計	63,463,460	63,132,463

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,421,686	1,770,869
1年内返済予定の長期借入金	1,540,000	4,600,000
未払法人税等	287,345	513,493
未払消費税等	193,488	43,810
賞与引当金	379,044	408,493
工事損失引当金	13,281	10,523
その他の引当金	4,206	3,239
その他	3,017,646	3,478,639
流動負債合計	6,856,698	10,829,068
固定負債		
長期借入金	10,360,000	5,760,000
受入敷金保証金	4,480,370	4,539,387
繰延税金負債	1,543,214	1,191,200
退職給付に係る負債	5,505,341	5,587,870
役員退職慰労引当金	388,331	461,131
その他	285,642	277,706
固定負債合計	22,562,901	17,817,295
負債合計	29,419,599	28,646,364
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,949,812	4,949,812
資本剰余金	8,977,989	8,977,989
利益剰余金	16,313,924	17,201,954
自己株式	△378,436	△378,485
株主資本合計	29,863,289	30,751,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,912,710	3,526,310
為替換算調整勘定	57,277	21,332
退職給付に係る調整累計額	210,583	187,185
その他の包括利益累計額合計	4,180,571	3,734,828
純資産合計	34,043,860	34,486,099
負債純資産合計	63,463,460	63,132,463



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	24,260,278	25,404,608
売上原価	17,799,246	18,476,381
売上総利益	6,461,032	6,928,226
販売費及び一般管理費	4,293,367	4,540,813
営業利益	2,167,664	2,387,412
営業外収益		
受取利息	4,118	4,478
受取配当金	84,496	108,183
受取保険金	5,232	13,447
為替差益	—	17,478
その他	18,789	15,289
営業外収益合計	112,637	158,878
営業外費用		
支払利息	124,648	106,124
遊休施設管理費	72,627	45,315
地域再開発費用	115,792	73,206
シンジケートローン手数料	18,314	18,314
貸倒引当金繰入額	5,683	—
災害復旧費用	—	33,819
その他	107,147	52,568
営業外費用合計	444,215	329,347
経常利益	1,836,087	2,216,943
特別利益		
固定資産売却益	8,572	51
特別利益合計	8,572	51
特別損失		
固定資産除売却損	192,723	171,952
減損損失	77,092	195,400
投資有価証券評価損	—	31,004
貸倒引当金繰入額	22,000	—
特別損失合計	291,815	398,357
税金等調整前当期純利益	1,552,843	1,818,637
法人税、住民税及び事業税	613,832	755,140
法人税等調整額	△127,776	△183,295
法人税等合計	486,056	571,845
当期純利益	1,066,786	1,246,792
親会社株主に帰属する当期純利益	1,066,786	1,246,792

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	1,066,786	1,246,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△206,496	△386,400
為替換算調整勘定	15,986	△35,944
退職給付に係る調整額	210,583	△23,398
その他の包括利益合計	20,074	△445,742
包括利益	1,086,860	801,049
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,086,860	801,049
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,949,812	8,977,989	15,508,056	△378,183	29,057,674
当期変動額					
剰余金の配当			△260,919		△260,919
親会社株主に帰属する当期純利益			1,066,786		1,066,786
自己株式の取得				△253	△253
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	805,867	△253	805,614
当期末残高	4,949,812	8,977,989	16,313,924	△378,436	29,863,289

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,119,206	41,291	—	4,160,497	33,218,172
当期変動額					
剰余金の配当					△260,919
親会社株主に帰属する当期純利益					1,066,786
自己株式の取得					△253
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△206,496	15,986	210,583	20,074	20,074
当期変動額合計	△206,496	15,986	210,583	20,074	825,688
当期末残高	3,912,710	57,277	210,583	4,180,571	34,043,860

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,949,812	8,977,989	16,313,924	△378,436	29,863,289
当期変動額					
剰余金の配当			△358,762		△358,762
親会社株主に帰属する当期純利益			1,246,792		1,246,792
自己株式の取得				△48	△48
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	888,030	△48	887,981
当期末残高	4,949,812	8,977,989	17,201,954	△378,485	30,751,270

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整 累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	3,912,710	57,277	210,583	4,180,571	34,043,860
当期変動額					
剰余金の配当					△358,762
親会社株主に帰属する当期純利益					1,246,792
自己株式の取得					△48
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△386,400	△35,944	△23,398	△445,742	△445,742
当期変動額合計	△386,400	△35,944	△23,398	△445,742	442,238
当期末残高	3,526,310	21,332	187,185	3,734,828	34,486,099

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,552,843	1,818,637
減価償却費	2,154,704	2,218,676
その他の償却額	98,129	69,769
減損損失	77,092	195,400
投資有価証券評価損益(△は益)	—	31,004
有形固定資産除売却損益(△は益)	184,151	171,901
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23,823	△2,292
賞与引当金の増減額(△は減少)	322	29,449
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,332	48,813
受取利息及び受取配当金	△88,615	△112,662
支払利息	124,648	106,124
売上債権の増減額(△は増加)	△102,239	△851,701
たな卸資産の増減額(△は増加)	205,428	△501,402
受入敷金保証金の増減額(△は減少)	△47,358	59,016
仕入債務の増減額(△は減少)	△58,779	349,183
未払消費税等の増減額(△は減少)	80,817	△149,678
前受金の増減額(△は減少)	△11,865	33,289
その他	8,899	63,473
小計	4,218,335	3,577,001
利息及び配当金の受取額	88,550	112,634
利息の支払額	△125,131	△106,184
法人税等の支払額	△737,535	△534,241
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,444,218	3,049,209

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,594,882	△4,901,843
有形固定資産の売却による収入	2,598,401	58
定期預金の預入による支出	△566,000	△866,000
定期預金の払戻による収入	416,000	766,000
短期貸付けによる支出	△6,431	—
その他	△86,211	△13,329
投資活動によるキャッシュ・フロー	△239,123	△5,015,113
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,340,000	△1,540,000
自己株式の取得による支出	△253	△48
配当金の支払額	△260,864	△358,385
その他	△78,778	△68,425
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,679,895	△1,966,860
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,785	△15,619
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,529,984	△3,948,383
現金及び現金同等物の期首残高	8,431,629	9,961,613
現金及び現金同等物の期末残高	9,961,613	6,013,230

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

この結果、前連結会計年度の貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」1億94百万円のうちの280百万円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」1億81百万円に含めて表示しており、「流動資産」の「繰延税金資産」1億94百万円のうち1億65百万円は、「固定負債」の「繰延税金負債」15億43百万円に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

### 【セグメント情報】

#### 1. 報告セグメントの概要

##### (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、輸送用機器関連事業及び不動産賃貸事業を中心に事業活動を展開しており、「輸送用機器関連事業」「不動産賃貸事業」「ホテル・スポーツ・レジャー事業」「物販事業」の4つを報告セグメントとしております。

##### (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「輸送用機器関連事業」は、各種特装車両、航空機機装品、ハニカム及びその他の輸送用機器関連の製造及び販売を行っており、「不動産賃貸事業」は、商業施設、事務所用ビル等の不動産賃貸、「ホテル・スポーツ・レジャー事業」は、ホテル及びゴルフ場、その他スポーツ・レジャー施設の運営、「物販事業」は、サウナ、暖炉、薪ストーブ、福祉機器の販売及び施工、大型自動二輪車の販売を行っております。

#### 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	輸送用機器 関連事業	不動産賃貸 事業	ホテル・スポー ツ・レジャー事業	物販事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	9,178,692	6,913,500	4,388,802	3,331,597	23,812,593
セグメント間の内部 売上高又は振替高	347,685	151,263	5,965	663	505,577
計	9,526,377	7,064,763	4,394,768	3,332,261	24,318,171
セグメント利益 又は損失(△)	337,134	2,191,306	△304,194	56,755	2,281,002
セグメント資産	10,306,106	24,856,788	9,111,886	1,797,361	46,072,142
その他の項目					
減価償却費	447,373	1,154,795	433,987	32,045	2,068,201
有形固定資産及び 無形固定資産 の増加額	498,357	982,299	315,243	52,028	1,847,929
減損損失	—	—	—	—	—

(単位:千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	合計
売上高				
外部顧客への売上高	447,684	24,260,278	—	24,260,278
セグメント間の内部 売上高又は振替高	201,926	707,504	△707,504	—
計	649,611	24,967,782	△707,504	24,260,278
セグメント利益 又は損失(△)	△113,337	2,167,664	—	2,167,664
セグメント資産	379,427	46,451,570	17,177,479	63,629,049
その他の項目				
減価償却費	13,905	2,082,106	72,598	2,154,704
有形固定資産及び 無形固定資産 の増加額	68,873	1,916,803	82,553	1,999,356
減損損失	77,092	77,092	—	77,092

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉介護事業及び野菜事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社建物、現金及び預金、関係会社預け金、投資有価証券であります。

(2) 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社における設備投資額であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益であります。



当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				
	輸送用機器 関連事業	不動産賃貸 事業	ホテル・スポー ツ・レジャー事業	物販事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	10,116,240	7,050,196	4,512,717	3,225,245	24,904,398
セグメント間の内部 売上高又は振替高	296,259	172,544	12,525	132	481,462
計	10,412,500	7,222,740	4,525,243	3,225,377	25,385,861
セグメント利益 又は損失(△)	382,000	2,383,365	△391,417	79,279	2,453,227
セグメント資産	11,459,134	27,770,122	8,889,612	1,948,753	50,067,622
その他の項目					
減価償却費	478,310	1,182,130	441,220	34,871	2,136,532
有形固定資産及び 無形固定資産 の増加額	473,612	4,148,439	498,201	127,601	5,247,854
減損損失	—	—	195,400	—	195,400

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	合計
売上高				
外部顧客への売上高	500,209	25,404,608	—	25,404,608
セグメント間の内部 売上高又は振替高	233,689	715,152	△715,152	—
計	733,899	26,119,761	△715,152	25,404,608
セグメント利益 又は損失(△)	△65,814	2,387,412	—	2,387,412
セグメント資産	335,619	50,403,242	12,729,221	63,132,463
その他の項目				
減価償却費	7,350	2,143,882	74,794	2,218,676
有形固定資産及び 無形固定資産 の増加額	—	5,247,854	75,637	5,323,492
減損損失	—	195,400	—	195,400

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉介護事業及び野菜事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社建物、現金及び預金、関係会社預け金、投資有価証券であります。

(2) 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社における設備投資額であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益であります。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	1,043.82円	1,057.38円
1株当たり当期純利益金額	32.71円	38.23円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,066,786	1,246,792
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,066,786	1,246,792
普通株式の期中平均株式数(千株)	32,614	32,614

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	34,043,860	34,486,099
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	34,043,860	34,486,099
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	32,614	32,614

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。